○議長（横路孝弘君）　討論の通告があります。順次これを許します。山井和則君。

〔山井和則君登壇〕

○山井和則君　私は、民主党・無所属クラブを代表し、ただいま議題となりました菅内閣不信任決議案に対し、反対の討論を行います。（拍手）

まず最初に、私は、改めまして、今回の大震災でとうとい命を失われました犠牲者を悼み、いまだ行方がわからない方々の安否が一日も早く判明することをお祈り申し上げます。そして、原発事故を含めて、被災されたすべての皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

大震災との闘いは現在も続いており、被災地の復興、原発事故の収束、そして日本の再生が緊急の課題であります。

今日のこの本会議は、被災者や避難所に避難しておられる方々も、かたずをのんで、祈るような思いで注目をしておられることと思います。そのような被災者の方々に対して、この不信任案の提出はどのように受けとめられているでしょうか。政争や権力争いはもういいかげんにしてくれ、そんな余裕があるなら与野党協力して復興にエネルギーを注いでほしい、これが圧倒的多数の被災者の気持ちではないでしょうか。

不信任案について、素朴な三つの疑問を申し上げたいと思います。

まず最初の疑問は、なぜ不信任の提出が今なのでしょうか。

けさの新聞を見れば、震災復興基本法の与野党の修正がおおむね合意になったと報じられています。つまり、震災復興にとって重要かつ緊急の震災復興基本法が今審議の真っ最中で、本来ならば、本日のこの本会議でその震災復興基本法を可決し、参議院に送付することこそが、被災者の方々の願いにかなうことではないでしょうか。

震災復興特別委員会の委員長である黄川田徹衆議院議員は、被害が特に甚大であった陸前高田市に住み、今回の震災で、愛する御家族をお亡くしになっておられます。まさに被災者を代表する黄川田委員長のもとに震災復興基本法が審議をされ、そして、民主党も自民党や公明党の案に対して大幅に譲歩をし、成立のめどが立ったやさきに、なぜ不信任案なのでしょうか。

国会の会期の延長問題、第二次補正予算についても、菅総理は、昨日の党首討論で、通年国会のつもりで大幅に会期を延長して第二次補正をともに成立させようと提案をしているではありませんか。（発言する者あり）

○議長（横路孝弘君）　静粛に願います。

○山井和則君（続）　次に、第二の疑問は、不信任案の中には具体的な対案があるのかということであります。

私は、菅内閣の震災対応が百点満点であるとはもちろん申しません。しかし、今、内閣不信任案を可決して、総理を初め担当大臣をかえること、あるいは解散・総選挙を行うことは、震災復興をおくらせることになるのではないでしょうか。

今回の不信任案では、菅政権への批判が著しく多く語られていましたが、自分たちならばこうするという対案が十分に示されていないのが残念であります。

例えば、新しい内閣になれば、お盆までの全員入居を約束している仮設住宅の建設はスピードアップするのでしょうか、八月末までの住宅地周辺の除去のめどを立てている瓦れきの除去は本当にスピードアップするのでしょうか、今示している原発事故の収束の工程表が前倒し実施できるのでしょうか。

少なくとも、内閣不信任案の提出者の方々からは、自分たちならこうするという具体的な案が見えないのは、非常に残念です。恐らく、今回の不信任案を聞き、被災者の方々も同じ不安を抱えておられるのではないでしょうか。

逆に、内閣をかえるのではなく、この不信任案を否決し、これを一つの区切りとして、与野党が協力して震災復興をもっとスピードアップさせてほしい、これこそが被災者の切なる願いなのではないでしょうか。

また、国際社会は、この事態をどう見ているのでしょうか。今、内閣をかえることは、いち早く支援を寄せていただいた国際社会から理解が得られるとは到底思えません。

三つ目の疑問であります。

私のみならず、多くの被災者が心配しているのは、万一内閣不信任案が可決された後の政権の枠組みがどうなるのかということであります。

昨日の野党党首会談の中で、谷垣総裁は、不信任案の可決後にどういう展望を持っているのかという質問に対して、見通しが十分あるわけではないと答えたと報道されています。

三つの疑問、つまり、なぜ今不信任案なのか、具体的な対案が見えない、今後の政権展望も全く見えない。これでは被災者に対して余りにも無責任ではないでしょうか。

多くの国会議員の方々が被災地を訪問されたことと思います。あの山のような瓦れきを見て、今、権力闘争をやっている場合とお思いでしょうか。あの避難所の方々の姿を見て、今、内閣不信任案を可決すべきときと思われるでしょうか。御病気の方々や障害のある方々も、細々と必死の思いで命をつないでおられます。

私も被災地を訪問し、石巻市で、瓦れきの中に大破したホームヘルパーさんの車を見かけました。あるホームヘルパーさんは、地震の直後、みずからが世話をしている介護を必要とするお年寄りを自分の車に乗せ、中学校の避難所まで必死に運転をされました。しかし、駐車場にたどり着いたときに津波にのみ込まれ、お年寄りとともに命を落とされました。

また、南三陸町の役場では、結婚したばかりの若い女性職員が、最後まで、津波が来るから避難するようにと町内放送で呼びかけを続け、みずからは、一カ月後に御遺体が海の沖合で発見されました。私も、その職員の方が最後までアナウンスをされていた防災庁舎を先日訪れました。無残にも鉄筋の骨格だけが残った庁舎の正面玄関には、うずたかく花が添えられており、私も、ひざまずき、合掌をさせていただきました。

また、避難所を回って話を聞く中で、地域のまとめ役であった多くの区長さんや消防団の方々が、最後まで住民に避難を呼びかけ、そのため、みずからの命を落とされたと聞きました。

このような話を聞けば聞くほど、私は、日本人の献身的な姿を誇りに思うと同時に、今度は、最も命がけで被災地の復興に働くべきは国会議員ではないかと思うのですが、皆さん、いかがでしょうか。

とうといとうといみずからの命を投げ出し、人命救助に取り組まれた多くの犠牲者や多くの被災者のことを思うとき、今こそ、私たち国会議員が与野党の垣根を越えて震災復興に全力で取り組むときではないでしょうか。

今回の内閣不信任案を受けて、政府も民主党も真摯に反省すべきです。改めるべきところは大胆に改めるべきです。菅総理も、先ほどの代議士会で、復興に一定のめどがついた段階で若い世代の皆さんに責任を引き継ぎたいと、重大な決意を語られました。

どうか、皆さん、不信任案に反対をしてください。そして、不信任案を否決してください。この採決を一つの区切りとして、被災者の生活が第一という思いのもと、与野党が一つになり、震災復興に取り組もうではありませんか。

特に野党の皆さん、どうかよろしくお願いいたします。野党の皆さん、どうか、被災地の復興のために、今こそ力を合わせようではありませんか。どうかよろしくお願いをいたします。

通年国会で年末まで国会を開き、速やかに二次補正を成立させようではありませんか。政治は、だれのためにあるのでしょうか。政治は、国民のためにあるのではないでしょうか。そして、政治とは、最も弱い立場の人たちのためにあるのではないでしょうか。今、この国難のときに、最も困っている被災者の方々を置き去りにするような、そんな国会であれば、私は、国会の存在意義はないと思います。

私は、本院議員の皆さんが、被災地の一日も早い復興のためという大義を共有し、不信任案に反対されることを、心から心からお訴えをし、私の反対討論とさせていただきます。どうか、野党の皆さん、よろしくお願いいたします。また、民主党の皆さん、よろしくお願いいたします。（拍手）

中略

○議長（横路孝弘君）　採決いたします。

この採決は記名投票をもって行います。

本決議案に賛成の諸君は白票、反対の諸君は青票を持参されることを望みます。――議場閉鎖。

氏名点呼を命じます。

〔参事氏名を点呼〕

〔各員投票〕

○議長（横路孝弘君）　投票漏れはありませんか。――投票漏れなしと認めます。投票箱閉鎖。開票。――議場開鎖。

投票を計算させます。

〔参事投票を計算〕

○議長（横路孝弘君）　投票の結果を事務総長から報告させます。

〔事務総長報告〕

投票総数　四百四十五

可とする者（白票）　百五十二

否とする者（青票）　二百九十三

○議長（横路孝弘君）　右の結果、菅内閣不信任決議案は否決されました。（拍手）

谷垣禎一君外十名提出菅内閣不信任決議案を可とする議員の氏名

松木	けんこう君	横粂	勝仁君	あべ	俊子君	安倍	晋三君
逢沢	一郎君	赤澤	亮正君	秋葉	賢也君	麻生	太郎君
甘利	明君	井上	信治君	伊東	良孝君	伊吹	文明君
石田	真敏君	石破	茂君	石原	伸晃君	稲田	朋美君
今津	寛君	今村	雅弘君	岩屋	毅君	江渡	聡徳君
江藤	拓君	遠藤	利明君	小里	泰弘君	小野寺	五典君
小渕	優子君	大島	理森君	大野	功統君	加藤	勝信君
加藤	紘一君	梶山	弘志君	金子	一義君	金子	恭之君
金田	勝年君	鴨下	一郎君	川崎	二郎君	河井	克行君
河村	建夫君	木村	太郎君	岸田	文雄君	北村	茂男君
北村	誠吾君	小池	百合子君	小泉	進次郎君	古賀	誠君
後藤田	正純君	河野	太郎君	高村	正彦君	近藤	三津枝君
佐田	玄一郎君	佐藤	勉君	齋藤	健君	坂本	哲志君
塩崎	恭久君	塩谷	立君	柴山	昌彦君	下村	博文君
新藤	義孝君	菅	義偉君	菅原	一秀君	田中	和徳君
田野瀬良太郎君		田村	憲久君	平	将明君	高市	早苗君
高木	毅君	竹下	亘君	竹本	直一君	武田	良太君
武部	勤君	橘	慶一郎君	棚橋	泰文君	谷	公一君
谷垣	禎一君	谷川	弥一君	谷畑	孝君	徳田	毅君
中川	秀直君	中谷	元君	中村	喜四郎君	永岡	桂子君
長島	忠美君	長勢	甚遠君	二階	俊博君	丹羽	秀樹君
西野	あきら君	西村	康稔君	額賀	福志郎君	野田	聖子君
野田	毅君	馳	浩君	浜田	靖一君	林	幹雄君
平井	たくや君	平沢	勝栄君	福井	照君	福田	康夫君
古川	禎久君	古屋	圭司君	保利	耕輔君	細田	博之君
町村	信孝君	松浪	健太君	松野	博一君	松本	純君

三ッ矢　憲生君　宮腰　光寛君　村上　誠一郎君　村田　吉隆君
望月　義夫君　茂木　敏充君　森　英介君　森　喜朗君
森山　裕君　柳本　卓治君　山口　俊一君　山本　公一君
山本　幸三君　山本　拓君　山本　有二君　吉野　正芳君
赤松　正雄君　井上　義久君　池坊　保子君　石井　啓一君
石田　祝稔君　稲津　久君　漆原　良夫君　江田　康幸君
遠藤　乙彦君　大口　善徳君　佐藤　茂樹君　斉藤　鉄夫君
坂口　力君　高木　美智代君　高木　陽介君　竹内　譲君
遠山　清彦君　富田　茂之君　西　博義君　東　順治君
古屋　範子君　浅尾　慶一郎君　江田　憲司君　柿澤　未途君
山内　康一君　渡辺　喜美君　園田　博之君　平沼　赳夫君
城内　実君　衛藤　征士郎君　中島　正純君　鳩山　邦夫君
否とする議員の氏名
安住　淳君　阿久津　幸彦君　阿知波　吉信君　相原　史乃君
青木　愛君　赤松　広隆君　浅野　貴博君　東　祥三君
網屋　信介君　荒井　聰君　五十嵐　文彦君　井戸　まさえ君
池田　元久君　石井　章君　石井　登志郎君　石毛　えい子君
石関　貴史君　石田　勝之君　石田　三示君　石津　政雄君
石森　久嗣君　石山　敬貴君　泉　健太君　磯谷　香代子君
市村　浩一郎君　糸川　正晃君　稲富　修二君　稲見　哲男君
今井　雅人君　打越　あかし君　生方　幸夫君　江端　貴子君
枝野　幸男君　小川　淳也君　小沢　鋭仁君　小野塚　勝俊君
小原　舞君　緒方　林太郎君　大泉　ひろこ君　大串　博志君
大島　敦君　大谷　啓君　大谷　信盛君　大西　健介君
大西　孝典君　大畠　章宏君　大山　昌宏君　逢坂　誠二君
岡田　克也君　岡田　康裕君　岡本　英子君　岡本　充功君
奥田　建君　奥野　総一郎君　奥村　展三君　加藤　学君
加藤　公一君　鹿野　道彦君　海江田　万里君　柿沼　正明君
梶原　康弘君　勝又　恒一郎君　金森　正君　神山　洋介君
川内　博史君　川口　浩君　川口　博君　川越　孝洋君
川端　達夫君　川村　秀三郎君　菅　直人君　木村たけつか君
吉良　州司君　城井　崇君　黄川田　徹君　菊田　真紀子君
菊池長右ェ門君　岸本　周平君　北神　圭朗君　京野　公子君
工藤　仁美君　櫛渕　万里君　楠田　大蔵君　沓掛　哲男君
熊谷　貞俊君　熊田　篤嗣君　黒岩　宇洋君　桑原　功君
玄葉　光一郎君　小泉　俊明君　小平　忠正君　小林　興起君
小林　正枝君　小宮山　泰子君　小宮山　洋子君　小室　寿明君
小山　展弘君　古賀　一成君　後藤　斎君　後藤　祐一君
郡　和子君　近藤　和也君　近藤　昭一君　近藤　洋介君
佐々木　隆博君　斉木　武志君　斉藤　進君　齋藤　勁君
斎藤やすのり君　坂口　岳洋君　阪口　直人君　笹木　竜三君
階　猛君　篠原　孝君　柴橋　正直君　下条　みつ君
城島　光力君　白石　洋一君　神風　英男君　首藤　信彦君
末松　義規君　杉本　かずみ君　菅川　洋君　鈴木　克昌君

仙谷　由人君	園田　康博君	空本　誠喜君	田島　一成君
田嶋　要君	田名部　匡代君	田中けいしゅう君	田中　美絵子君
田村　謙治君	平　智之君	高井　崇志君	高井　美穂君
高木　義明君	高野　守君	高橋　昭一君	高橋　英行君
高松　和夫君	高邑　勉君	高山　智司君	滝　実君
竹田　光明君	武正　公一君	橘　秀徳君	玉木　朝子君
玉木　雄一郎君	玉城　デニー君	玉置　公良君	樽床　伸二君
中後　淳君	津川　祥吾君	津島　恭一君	津村　啓介君
辻　惠君	辻元　清美君	筒井　信隆君	手塚　仁雄君
寺田　学君	道休　誠一郎君	富岡　芳忠君	豊田　潤多郎君
中井　洽君	中川　治君	中川　正春君	中島　政希君
中津川　博郷君	中塚　一宏君	中根　康浩君	中野　寛成君
中野　譲君	中野渡　詔子君	中林　美恵子君	中屋　大介君
中山　義活君	仲野　博子君	永江　孝子君	長尾　敬君
長島　昭久君	長島　一由君	長妻　昭君	長安　豊君
仁木　博文君	西村　智奈美君	野木　実君	野田　国義君
野田　佳彦君	羽田　孜君	萩原　仁君	橋本　清仁君
橋本　博明君	橋本　勉君	畑　浩治君	鉢呂　吉雄君
初鹿　明博君	鳩山　由紀夫君	花咲　宏基君	浜本　宏君
早川　久美子君	原口　一博君	伴野　豊君	樋口　俊一君
樋高　剛君	平岡　秀夫君	平野　博文君	平山　泰朗君
福嶋　健一郎君	福島　伸享君	福田　昭夫君	福田　衣里子君
藤井　裕久君	藤田　一枝君	藤田　大助君	藤田　憲彦君
藤村　修君	古川　元久君	古本　伸一郎君	細川　律夫君
細野　豪志君	本多　平直君	馬淵　澄夫君	前原　誠司君
牧　義夫君	牧野　聖修君	松岡　広隆君	松崎　公昭君
松崎　哲久君	松野　頼久君	松原　仁君	松宮　勲君
松本　大輔君	松本　剛明君	松本　龍君	三日月　大造君
三谷　光男君	三村　和也君	三井　辨雄君	水野　智彦君
皆吉　稲生君	宮崎　岳志君	宮島　大典君	向山　好一君
村井　宗明君	村上　史好君	村越　祐民君	室井　秀子君
本村　賢太郎君	森岡　洋一郎君	森本　和義君	森本　哲生君
森山　浩行君	矢崎　公二君	谷田川　元君	柳田　和己君
山尾　志桜里君	山岡　賢次君	山岡　達丸君	山口　和之君
山口　壮君	山崎　摩耶君	山崎　誠君	山田　正彦君
山田　良司君	山井　和則君	山花　郁夫君	山本　剛正君
湯原　俊二君	柚木　道義君	与謝野　馨君	横光　克彦君
横山　北斗君	吉川　政重君	吉田　泉君	吉田　おさむ君
吉田　公一君	吉田　統彦君	笠　浩史君	和嶋　未希君
和田　隆志君	若井　康彦君	若泉　征三君	鷲尾　英一郎君
渡辺　浩一郎君	渡辺　周君	渡辺　義彦君	渡部　恒三君
亀井　静香君	下地　幹郎君	田中　康夫君	松下　忠洋君
土肥　隆一君			

○議長（横路孝弘君）　本日は、これにて散会いたします。

午後三時二十五分散会

―――――◇―――――

出席国務大臣

内閣総理大臣	菅　直人君
総務大臣	片山　善博君
法務大臣	江田　五月君
外務大臣	松本　剛明君
財務大臣	野田　佳彦君
文部科学大臣	高木　義明君
厚生労働大臣	細川　律夫君
農林水産大臣	鹿野　道彦君
経済産業大臣	海江田万里君
国土交通大臣	大畠　章宏君
環境大臣	松本　龍君
防衛大臣	北澤　俊美君
国務大臣	枝野　幸男君
国務大臣	玄葉光一郎君
国務大臣	自見庄三郎君
国務大臣	中野　寛成君
国務大臣	与謝野　馨君
国務大臣	蓮　舫君